

## 後期始業式

今日の後期始業式において、子供たちに向けて、以下のような概要で話をしました。

今、皆さんは「静と動のけじめ」ということを赤崎小学校の大きなめあてとしてがんばっています。前期は主に学校内の生活・活動をきまりをしっかりと守り、同じクラスや学年の友だちと協力しながら活動してきました。

時には、自分がやりたいことができず、けんかになったこともあったかもしれません。計画していたことがうまくできなかったこともあったかもしれません。でも、そのたびに、では、どうすればよいのか、みんなで相談したり、先生に教えてもらったりしながら、問題を解決してきたと思います。

「できなかった」とあきらめてしまうのではなく、では、どうすればよいか考えることが大切です。

後期はまず、運動会があります。コロナウイルス感染拡大防止のため、いつもと同じような運動会はできません。

しかし、その中でできることをしっかりと実行してほしいと思います。

そのために運動会では、これまでの「静と動のけじめある行動」に加えて、次の3つのことにがんばってほしいと思います。

一つ目は、「きびきびとした行動」です。準備や移動など、きびきびとすばやい行動ができるようにがんばりましょう。

二つ目は、「元気で大きな声や動作」です。運動場では、校舎の中とは違い、声や動作が伝わりにくくなります。元気で大きな声や動作を行いましょう。

三つ目は、「最後までがんばる」ことです。難しいことやきついことは、途中でもういやだと投げ出してしまいたくなるかもしれません。でも、そこであきらめずに最後までがんばってほしいのです。

前期の間に取り組んできたことやみんなで作ってきたことを生かして、学級、学年の中だけではなく、他の学年の人やおうちの人に向かって皆さんの良さを発揮してもらいたいと思います。

そして、運動会だけではなく、他の学年の人や学校の外での活動に対しても、「静と動のけじめ」をしっかりとつけ、友だちと力を合わせて、赤崎小学校の子どもとして、皆さんのよいところ「あ、か、さ、き」をしっかりと発揮してほしいと思います。

そのためには、普段の生活をしっかりと行っていく必要があります。そのときだけががんばってもうまくはいかないのです。一日一日を大切に、毎日の学習、生活、これらにしっかりと取り組んでください。

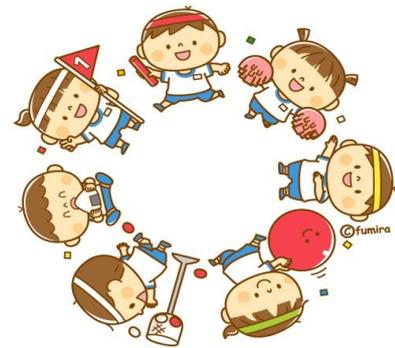
「これくらい、いいや」

「だれか、他の人がやってくれるだろう」ではなく、

「うまくいかないなあ。でもできるようになるまで、最後までがんばるぞ！」

「本当はわたしの仕事ではないけれど、そのままにはできない。わたしがやってやろう！」と行動しましょう。

そして、後期の最後、6年生は「卒業式」で、他の学年の皆さんは「修了式」で、「よくがんばったね」とお互いにそのがんばりを認め合うことができるような後期にしてもらいたいと思います。赤崎小学校の先生方は、がんばっている人は一生懸命応援してくださる先生方ばかりです。皆さんのがんばりを応援していますよ。



## 前期がんばったこと、後期にがんばること

前期の終業式では、1、3、5年生の代表児童による作文発表がありました。以下、その紹介をします。

「ぜんきにがんばったこと こうきに がんばりたいこと」

1年

ぼくは、ぜんきに さんすうのひきざんをがんばりました。けいさんカードを一にちーかいずつれんしゅうしました。てをつかわないようにしました。そしすると、ちょっとずつはやくできるようになりました。うれしかったです。

こうきにがんばりたいことは、ひるやすみに そとからかえってくる時、はやく かえるようにすることです。なぜかという、そとからかえってくる時は、いそがないでべんきょうに おくれることが あったからです。こうきは、いそいで きょうしつへ かえりたいと おもいます。



「前期にがんばったこと」

3年

わたしが前期にがんばったとは二つあります。

まず一つ目は、算数の「重さ」の学習です。

さいしよに、教科書を開いた時「これは、むずかしそうだなあ」と思いました。

でも、仲よしの友だちに「これ、なんて読むの?」としつもんしたり、先生の話じっくり聞いたりしていると、だんだん重さのたんいのことがよく分かってきて楽しくなりました。はかりを使って、色いろなもの重さをはかれるようになりました。

二つ目は、漢字をきれいに書くことです。

わたしは、漢字を書くことやおぼえることは大好きなのですが、上手に書くことがにがてです。

そこで、わたしはドリルをよく見て漢字をきれいに書くコツを知ろうとしました。

そして、書きじゅんが書いてあるのを見つけました。「わたしは、時どき書きじゅんをまちがえているから、うまく書けないんだ。」と思いました。

それから、書きじゅん通りに書くと、上手に書けるようになりました。

このように、前期には、むずかしそうなことやにがてなことでも、あきらめずにがんばればできるようになり、楽しくなることが分かりました。

後期も色いろなことちょうせんしてみたいと思います。



「前期でがんばったこと」

5年

わたしは、前期でがんばったことが二つあります。

一つ目は漢字です。覚えたようでもテストでは正しく書けていませんでした。だから宿題以外でも練習するようにしました。すると、高い点数がとれました。5年生になって初めて漢字のテストでこのような点数がとれたので、うれしかったです。

二つ目は、家庭科でエプロンを作ったことです。ミシンを使うのは初めてだったので、先生といっしょにやりました。返しぬいやまっすぐぬうことに気をつけてエプロンを仕上げました。完成してとてもうれしかったです。

前期で楽しかったことは野外学習です。

沢登りでは、岩が大きかったり、がたがたしたりして進みにくかったけど、自然の中を歩くのはとても気持ちよかったです。

後期は、自学ノートを使って算数の復習をがんばりたいです。

